

葛白の労働者團結七下

関東製材従業員會第一回大會宣言(草案)

今や我々の資本主義は、欧州大戦以来の甚烈の恐慌の渦中に投じ  
 られ、益々深刻化し行く不景気のどん底に苦悶しつつある。  
 賃銀値下げ、時間延長、工場閉鎖等による労働条件の低下と失業の激  
 増は、極度の労働者の生活をおびやかすに至つた。一方、かかる情勢  
 は政治の上にも明瞭に反映し、資本家階級は其政治権力を縱横に振舞  
 労働組合の破壊、治安維持法の改悪、暴論、暴行、出版、結社の自由  
 に対する圧迫と弾圧、先産階級解放運動に対する暴圧を逞いしつづつ  
 る。かくして、不景気のどん底に四苦八苦する我國の資本家階級は、或  
 る労働階級を、政治的並に経済的に圧迫し排敵し、以て、彼らより私利  
 を得ようとする。專制的支配を維持せんとして居る。  
 更に眼を世界経済と國際政治に転ずれば、そこには、日、英、米  
 を中心とする帝國主義列強の、正面衝突を前提とする暗闘の運命の  
 動蕩するを窺ふ。維新帝國主義列強は、今や、その最鋭の肉中骨  
 髄を東洋、特に支那に求め民族運動を暴圧するに及ぶ。その経済的優  
 越の勢力を逞め、東洋を中心とする第一の世界戦争の危機を醸成しつつ  
 ある。かくして、その結果は、必然に、わが労働階級の身に、二重二重